

<h1 style="margin: 0;">ちょっと待って、ケータイ</h1> <h2 style="margin: 0;">～【事例1】メールの落とし穴～</h2>	媒体	DVD
	時間	15分
	整理番号	D00264

本プログラムのねらい	期待される効果
○携帯電話等は、急な連絡の際の手段として有用な反面、長時間利用により学習時間や睡眠時間が減少して生活リズムが乱れるという負の面もあることを理解し、家庭での関わり方について考える。	子供の携帯電話やスマートフォンの使い方についてどうしつければよいか悩む保護者が、 使い方等について正しく理解し、親として積極的に関わろうとする。

活動の主な流れ (映像教材の内容)	運営上の留意点
-------------------	---------

<p>1 ビデオの視聴前に、「両どなり他己紹介&自己紹介」を行う。(共通テーマ:子供のメールなど) (15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会場は、「サークル型」でレイアウトする。 ▶「オープニングプログラム」参照
---	---

(例) 今や携帯電話やスマートフォンは、私たちの生活に欠かせない機器となりました。皆さんの中には、子供にも持たせている方もいらっしゃるかと思います。「子供のメール」をテーマにして、自己紹介をしてみましょう。

<p>2 ビデオを視聴する。(15分)</p>	<p>(例) 今回は、お子さんのメールの使い方をテーマにしたビデオです。ビデオを見た後で、感想などについて話し合います。ワークシートに必要なことをメモしながら見ましょう。</p>
-------------------------	---

<p>【ビデオの概要】</p> <p>○事例1 メールの落とし穴</p> <p>待望のケータイを買ってもらった小学校5年生の美沙。さっそく親しい友達とメール交換を始める。家にも友達と繋がっていられることに大喜び。メールが届くとすぐに返信を打つ。しかし、時間に関係なく次々と入ってくるメールに振り回される美沙。ちょっと返信が遅れただけで友達との関係がぎくしゃくしていく。夜中まで続くメールのやりとりで睡眠不足になり、生活リズムも乱れてしまう。</p> <p>※参考 (DVDには、他に3つの事例が収録されている)</p> <p>事例2 プロフの危険な誘惑</p> <p>事例3 ケータイに忍び寄る罠</p> <p>事例4 学校裏サイトの闇</p>	<p>視聴後、ビデオの内容と参加者の実情を結びつけた話をするために、ビデオが始まったら、進行役は、「両どなり他己紹介&自己紹介」などで話題になったことと、ビデオの内容と重なる内容をメモする。</p> <p>いずれの事例も10分程度の時間で視聴できる。主催者は、事前に視聴し、実情に合った事例を選んでおく。なお、総合教育センターで貸し出すDVDには、活用方法を示した資料も同梱してある。</p> <p>・文部科学省が発行するリーフレット「ちょっと待ってケータイ&スマホ」を配布する。</p> <p>▶「エンディングプログラム」参照</p>
--	--

<p>3 ビデオ視聴後の感想を交流する。(10分~30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想交流後、印象に残った言葉などをワークシートにメモする。 	<p>(話し合いを深める言葉かけの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公の美沙さんは、メールによってとうとう生活のリズムが乱れてしまいました。この家庭ではどうしたらよかったですでしょうか。各グループで話し合ってみましょう。
--	---